

KADOMA PHOTO NEWS

自粛中でも身体動かして 三ツ島でフレイル予防の取り組み



賞状を受け取り皆さん満面の笑み

コロナ禍で外出の機会が減り、自宅で過ごすことが多くなった高齢者のフレイル（虚弱）予防のため、市は、街かどケアホームれんか（三ツ島1丁目）にある「ゆめ伴ファーム」まで歩いてきてくれた人にスタンプを押す取り組みをしました。当初はラジオ体操をする予定でしたが、感染拡大のため今回は泣く泣く中止に。スタンプがたまった人には、サービス付き高齢者住宅の入居者に書いていただいた龍があしらわれた賞状をお渡しました。高齢福祉課は「コロナの感染対策をしながら、元気な体を維持できるような取り組みを続けましょう」と呼びかけています。

は泣く泣く中止に。スタンプがたまった人には、サービス付き高齢者住宅の入居者に書いていただいた龍があしらわれた賞状をお渡しました。高齢福祉課は「コロナの感染対策をしながら、元気な体を維持できるような取り組みを続けましょう」と呼びかけています。

中学生が市長とオンライン交流会



中学生の質問に答える市長（2段目左）

1月27日、市内に6つある市立中学校の生徒会執行部が、Zoomを活用して宮本一孝市長とオンライン交流会を行いました。「四中では集中力向上のためシエスタ（昼寝）を試験実施しました」など各校の取り組みを市長に紹介したほか、市長に「コロナで大変だったことはなんですか」「なんで市長になったんですか」といった質問が投げかけられました。第五中学校生徒会長の西岡慶人さんは「（市長に）緊張したけど、親しみやすい方ですごくしゃべりやすかったです。今日の各校や市長のお話を参考に、五中をもっといい学校にしていきたいです」と意気込んでいました。

長になったんですか」といった質問が投げかけられました。第五中学校生徒会長の西岡慶人さんは「（市長に）緊張したけど、親しみやすい方ですごくしゃべりやすかったです。今日の各校や市長のお話を参考に、五中をもっといい学校にしていきたいです」と意気込んでいました。

クリエイティブシティめざそう ルミエールホールでフォーラム開催



文化芸術について熱く語る登壇者の皆さん

1月20日、ルミエールホールで「文化×『協働/共創』フォーラム」が開催されました。門真市文化芸術推進基本計画のパブリックコメントに伴うもので、門真市文化芸術推進審議会や市民100人会議、庁内検討委員会の参加者や市長が登壇しました。これまで門真で行われてきた多様な文化芸術活動の振り返りや、これからの門真の文化芸術の推進について意見が交わさ

れました。フォーラムを聞いた「みんなで作る門真の第九実行委員会」の中野永子さんは「こんなに色々されていたとは知りませんでした。あらためて私も頑張らなきゃって思いました」と話されました。門真市文化芸術推進基本計画は3月末までに策定され、4月から「クリエイティブシティ・かどま」の実現に向けて、市民の皆さんと力を合わせて取り組んでいきます。



布くらふとの皆さん

大阪府社会福祉ボランティア知事表彰 リサイクル工房 布くらふと

廃材などを活用した芸術作品の展示や、高齢者施設・小学校などへの出前授業など、ごみの減量やリサイクルのための長年におよぶ啓発活動が評価され、大阪府知事表彰を受賞されました。

代表の畑智恵子さんは「前身のリサイクル活動機構かどまから早20年、『継続は力なり』とつくづく感じます。これからも色んな分野でボランティア活動を続けていきます」とお話しされました。



制作参加したかどま折り鶴12万羽プロジェクト



「S L」



（特選）
田伏光琉さん
（大阪国際大和田幼稚園年中）



「きょうりゅうものがたり」



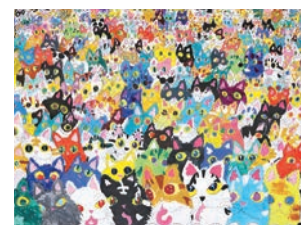
（入選）
近澤天晴さん
（二島小学校1年生）



「小さな世界」



（特選）
川中希紗さん
（四宮小学校5年生）



「276匹の猫」



（入選）
三浦はなさん
（二島小学校6年生）

第51回世界児童画展
つちのこ
絵画陶芸教室の
皆さん

